

2021 年度実施概要

学校名

阪南市立上荘小学校

採択活動名

地域に根ざした海洋教育

実施単元

単元名	学年	教科
1. 海洋教育オリエンテーション	3～6	総合
2. 見直そう！わたしたちの生活～海洋プラスチック問題～（海のごみ問題・生き物観察）	6	総合
3. 大阪湾で行われている漁の仕方について（尾崎漁港へ行こう 私たちの漁業）	5	総合・社会
4. 海藻おしばをつくろう	3、4	総合・図工
5. チリメンモンスターを探そう	1～4	生活・総合
6. 海の生き物にふれよう（ビーチコーミング・海の生き物見つけ）	1	生活
7. 海洋教育ってなあに（ビーチコーミング 海の生き物見つけ 石ころアートをしよう）	2	生活・図工
8. 海の生き物について知ろう（里海自然海岸）	3	総合
9. 海を知り、海を守ろう（アマモにふれる 海の生き物見つけ）（尾崎の海岸）	4	総合
10. 競りってなに？尾崎漁港へ行こう（海のごみ問題・魚の流通を調べる）	6	総合・社会
11. アマモ苗床づくり・播種	5	総合
12. 私たちの海でワカメを育てよう	5	総合
13. SDG sを知ろう	1～6	生活・総合・社会
14. 育てたワカメを収穫しよう	5	総合
15. 海の生き物とふれあおう	1	生活
16. アマモの秘密を知ろう	4	総合
17. 水産業のさかんな地域	5	社会

取り組みの概要

1. 概要

本校は、国道沿いの学校で近隣には住宅街や商業施設が並び、海や山が近くにある校区ではない。海洋教育を進めるうえでの立地的条件は整っているとは言えない。そのため、これまでは海にふれる学習は行ってこなかった。

しかし、阪南市には、海岸、漁港、男里川もあるなかで海洋教育を行う土壌はある。そこで、今年度からは、海洋教育パイオニアスクールプログラムに参加し、海洋教育実施校（尾崎小学校・西鳥取小学校、下荘小学校、舞小学校）との連携・交流をしながら、地域の方と協働して取り組みを実施した。

2. 目標

- (1) 「海」での活動の楽しさを知り、海の環境保全活動を知り、産業・資源について学ぶ。
- (2) 阪南市の文化歴史、身近な環境にふれることで地域を大切にしていこうとする心情を育てる。
- (3) 他者に伝える活動を充実させ、「発信する力」「発表する力」の向上をめざす。

3. 取組

【海に親しむ】 海の自然に親しむ、海の多様性に触れる

- 海の生き物について知ろう（6月）3年（里海公園自然海岸）
近くの海岸を歩いて、生き物を探したり貝殻などを拾ったりする
- 海の生き物にふれよう（6月）1・2年（里海公園自然海岸）
近くの海岸を歩いて、生き物を探したり貝殻などを拾ったりする
拾ってきた石を用いて「石ころアート」を行う
- チリメンモンスターを探そう（11月）1～4年
チリメンモンスターを探す活動を通して、海の生き物の多様性について知る

【海を知る】 海の自然や資源・人との繋がりについて関心を持つ

- 海藻おしばをつくろう（2月）3・4年
海藻を用いて、絵葉書をつくる
- 大阪湾で行われている漁の仕方について（尾崎漁港へ行こう 私たちの漁業）（9月）5年
近くの尾崎漁港を見学し、漁師から漁船や漁具について学ぶ
- 競りってなに？尾崎漁港へ行こう（海のごみ問題・魚の流通を調べる）（10月）6年
漁師さんに海のごみについて話を聞く
競りを見学し、漁師さんがとった魚がどのように流通されているかを知る
- SDGsを知ろう（10月～1月）1・2・3・4・5・6年
「海洋プラスチック問題」、「食品ロス問題」、「大阪湾のお魚と漁業」について学習する

【海を守る・利用する】 海の保全活動を体験する、自分にできることを考えて実行する

- 見直そう！わたしたちの生活～海洋プラスチック問題～（海のごみ問題・生き物観察）（9月）6年（尾崎の海岸）
尾崎海岸で清掃活動を行い、生き物調査を行う
- 海を知り、海を守ろう（アマモを見つけよう 海の生き物見つけ）（6月）4年（尾崎の海岸）
尾崎海岸のアマモ場で、アマモにふれる。生き物調査を行う
- アマモ苗床づくり・播種（11月）5年
- ワカメ種糸つけ（12月）・収穫（3月）5年

4. 成果

- ・活動初年度で、多くの外部講師の方に関わってもらえたことで、全学年で「環境」と「海」のつながりを感じさせる活動を行うことができた。
- ・6年生では海岸清掃活動を通して、自然環境問題に向き合うことができ、さらに地域の漁港と連携して、漁師さんから話を聞くことができた。
- ・5年生に中心となる学習がくるように計画し、それに向けて4年生でやっておくこと、3年生で取り入れること等、系統立てた計画を立てた。4年生の児童は5年生で行う活動に興味を持っていた。
- ・5年生がアマモの苗床をつくり、それを校内の水槽で育てることで、全学年の児童がアマモの栽培活動に興味を持っていた。
- ・海洋教育と並行して、本年度は大阪府の SDGs 出前講座を1年から6年生までの全学年で受けた。海洋教育とリンクすることがあり、意欲的に学習に臨んでいた。

5. 課題

- ・初年度ということもあり、海洋教育の単元と他教科等との結びつきや、関連性を意識して活動することの意識づけが少し弱かった。次年度は、関連性を意識して活動に取り組みたい。
- ・5年生がつくったアマモの苗床に、児童が興味を持っていた。委員会等も、海洋教育と絡めた活動ができるのではないかと考えている。
- ・他者に伝える活動を充実させ、「発信する力」「発表する力」の向上をめざしていきたい。次年度はオンラインを活用した交流を積極的にやっていきたいと考えている。

活動中の写真

清掃活動



海の生き物見つけ



漁港見学

